

令和6年度 新潟市こども創作活動館 事業計画

運営基本方針

『あそぶ・つくる・まなぶ』子どものための文化活動と遊びの空間を提供しながら、安心して過ごせる地域の居場所としての事業を行う

- ① 子どもたちの成長への貢献…育ち合う
- ② 子育てをする家庭への貢献…支え合う
- ③ 地域のまちづくりへの貢献…つながり広げ合う

事業計画

幼児、児童の発達段階に応じた行事やプログラムを提供する。多世代交流の拠点を目指す

●乳幼児期

- ① 手遊びや読み聞かせなど、遊びを通して子どもとの関わり方を知り、保護者が子育てを楽しいものと思える手助けをする。
- ② 現在進行形で子育てをしている保護者同士が話し合える場を設け、仲間づくりのサポートをする。
- ③ 情緒を安定させ、保護者と十分にふれあえる『おやこ de ミュージックセラピー』や『おやこ de リトミック』『おやこ de アート』『えいご de あそぼう』を実施する。

●小学校低学年期

- ① 職員が関わり、楽しみながら興味関心が広がる活動に取り組めるようにする。
- ② 集団で遊んだり、創作活動をする楽しさを知ったり、自他の感情と権利を大事に考えられるようにサポートしていく。

●小学校高学年・中学生期

- ① 主体的に活動できるように職員が援助しながら『クラブ』や『会議』運営を視野に入れた活動を行う。
- ② 自己肯定感を高めるようなかわりを大事にし、温かな居場所としての機能を果たす。
- ③ 創作活動、フィールドワーク、職業体験の場を提供する。

●学習支援

- ① 『自由べんきょう』を実施し、小中学生が常時気軽に学べる環境を提供する。また、長期休み等に必要に応じて『スタディタイム』を開催し職員に気軽に質問できる環境づくりに取り組む。

●地域・多世代との交流

- ① 地域住民に得意分野のボランティア講師となっただき、地域の中で一緒に子どもたちの育ちをサポートする。
- ② 季節のお祭りをホール等で開催し、広く地域の方と子育て世帯が交流できる拠点として、お互いを支え合う関係性を築く取り組みをする。